取扱説明書

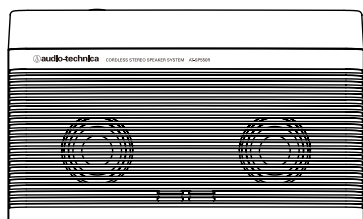
audio-technica

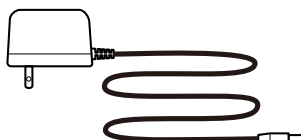
コードレスステレオスピーカーシステム

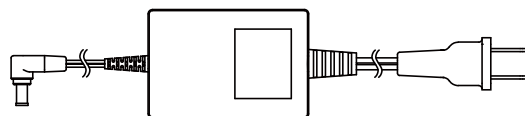
AT-SP550TV

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

内容物を確認する

本製品をご使用になる前に、下記内容がすべてそろっていることを確認してください。万一、内容物に不足や損傷がある場合は、お買い上げの販売店または当社相談窓口（→8 ページ）までご連絡ください。

●スピーカー（AT-SP550R）

●トランスミッター（AT760TX）

●接続コード（1.0m）

●スピーカー専用ACアダプター（AD-LL0608AH）

●トランスミッター専用ACアダプター（AD-LL1205AH）

※アダプターの型番を確認してください。

安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計をしていますが、使いかたを誤ると事故が起こることもあります。
事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

⚠危険	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが切迫して生じる可能性があります」を意味しています。
⚠警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
⚠注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

本体について

⚠警告

●付属の専用ACアダプターおよび指定の別売ACアダプター以外は使用しない
事故や火災の原因になります。

●異常に気付いたら使用しない
異常な音、煙、臭いや発熱、損傷などがあったら、すぐにコンセントから抜き、お買い上げの販売店か当社のサービスセンターに修理を依頼してください。

●分解や改造はしない
感電、故障や火災の原因になります。

●強い衝撃を与えない
感電、故障や火災の原因になります。

●濡れた手で触れない
感電やけがの原因になります。

●水をかけない
感電、故障や火災の原因になります。

●本製品に異物（燃えやすい物、金属、液体など）を入れない
感電、故障や火災の原因になります。

●布などでおおわない
過熱による火災やけがの原因になります。

●同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない
事故や火災の原因になります。

⚠注意

●不安定な場所に設置しない
転倒などによりけがや故障の原因になります。

●直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない
故障、不具合の原因になります。

●火気に近づけない
変形、故障の原因になります。

●ベンジン、シンナー、接点復活保護液などは使用しない
変形、故障の原因になります。

安全上の注意

ACアダプターについて

⚠警告

●**AC100V以外の電源には使わない(日本国内専用)**
過熱による火災やけがの原因になります。
●**本製品以外には使用しない**
過熱による火災やけがの原因になります。
●**異常に気付いたら使用しない**
異常な音、煙、臭いやコードなどの発熱、損傷などがあったら、すぐにコンセントから抜き、お買い上げの販売店か当社のサービスセンターに修理を依頼してください。
●**コードは伸ばして使用する。釘などでの固定や、束ねたままでの使用はしない**
過熱による火災やけがの原因になります。
●**コンセントや本体にプラグを差し込むときは根元まで確実に差し込む**
過熱による火災やけがの原因になります。
●**コードを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする**
断線、故障の原因になります。
●**コードの上に物を置いたり、敷物や家具などの下に入れたりしない**
断線、故障の原因になります。
●**分解や改造はしない**
感電、故障や火災の原因になります。
●**強い衝撃を与えない**
感電、故障や火災の原因になります。
●**濡れた手で触れない**
感電やけがの原因になります。
●**布などでおおわない**
過熱による火災やけがの原因になります。
●**プラグにたまったほこりなどは乾いた布で定期的に拭き取る**
過熱による火災やけがの原因になります。
●**ベンジン、シンナー、接点復活保護液などは使用しない**
変形、故障の原因になります。

⚠注意

●**長時間使用しないときは、コンセントから抜く**
省エネルギーにご配慮ください。
●**足に引っかかりやすい場所にコードを引き回さない**
故障や事故の原因になります。
●**通電中のACアダプターに長時間触れない**
低温やけどの原因になることがあります。

電池について

指定電池	単３形アルカリ乾電池 ×４本

※指定電池以外は使用しないでください。

⚠危険

●**電池の液が目に入ったときは目をこすらない**
すぐに水道水等のきれいな水で充分に洗い、医師の診察を受けてください。

⚠警告

●**幼児の手の届く所に置かない**
電池を飲み込んだ場合はすぐに医師の診察を受けてください。窒息や内臓への障害の恐れがあります。
●**火の中に入れない、加熱、分解、改造しない**
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
●**極性通りに入れる**
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
●**液漏れした電池はすぐに取り出し、液は素手で触らない**
・幼児がなめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で充分にうがいをし、医師の診察を受けてください。
・皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。
●**硬貨やカギなど金属製のものと一緒の場所に置いたり、電池の+と−を接続しない**
ショート状態になり液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
●**新しい電池と一度使用した電池、銘柄や種類の違う電池を混ぜて使用しない**
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
●**乾電池は充電しない**
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
●**使い切った電池はすぐに取り出す**
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
●**長期間使用しない場合は電池を取り出す**
液漏れによる故障の原因になります。

⚠注意

●**外装ラベルがはがれた電池は使用しない、ラベルをはがさない**
ショート状態になり液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
●**落下させたり強い衝撃を与えない**
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
●**変形させたりハンダ付けしない**
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
●**水に濡らさない**
発熱の原因になります。
●**以下の場所で使用、放置、保管しない**
・直射日光の当たる場所、高温多湿の場所
・炎天下の車内
液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。
●**保管、廃棄の場合は端子部をテープなどで絶縁する**
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
●**使用済みの電池は自治体の所定の方法で処分する**
環境保全に配慮してください。

使用上の注意

●本製品 はプラズマディスプレイにはご使用になれません。音が途切れたり、雑音が出る場合があります。

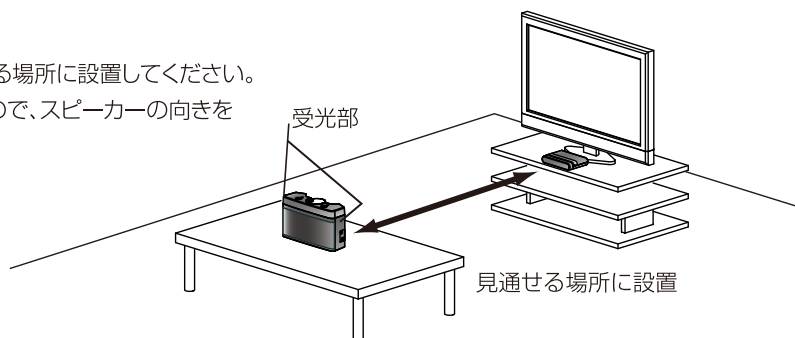
●本製品 以外の赤外線式コードレスヘッドホンや赤外線式コードレスマイクを同時に使用することはできません。

●電池残量が少なくなるとスピーカーのインジケーターが暗くなり、雑音が入る恐れがあります。その場合は付属のACアダプターを使用するか早めに電池を交換してください。

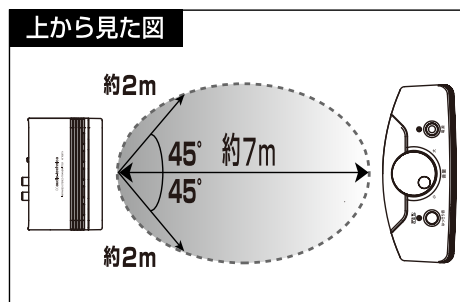
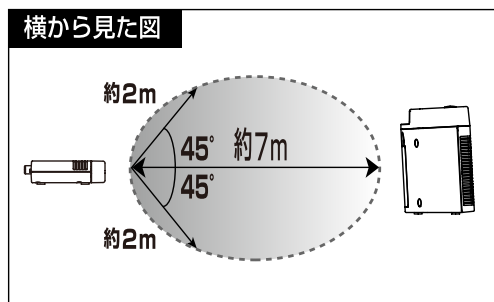
設置について

本製品 は赤外線を利用した機器です。
右図のようにスピーカーは、トランスミッターが直接見通せる場所に設置してください。
また、スピーカー上部の左右の端が受光部になっていますので、スピーカーの向きを気にせず設置することができます。

受光部

見通せる場所に設置

※ スピーカーとトランスミッターの間に障害物があると、音声が途切れたりノイズが出る場合がありますが、故障ではありません。

※トランスミッターはスピーカーとできるだけ同じ高さに設置し障害物を避けて ください。

リスニングエリア(赤外線受光範囲)について

※リスニングエリア内でも、直射日光が当たる場所や、照明器具、コードレスマウス、ＩＨ調理器などの近くでは、光や電磁波の影響を受けやすいので、それらを避けた場所に設置してください。

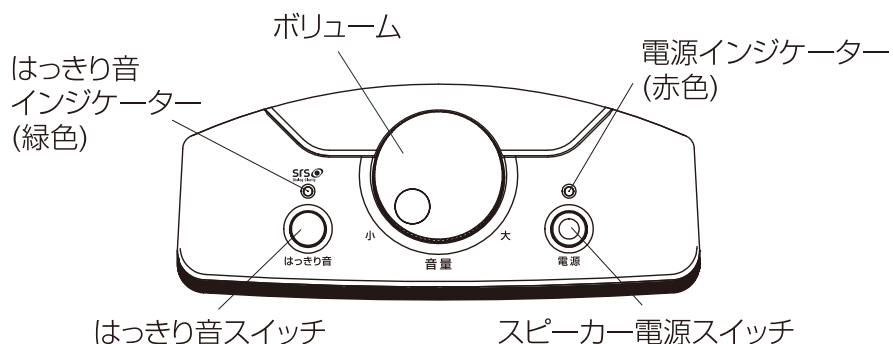
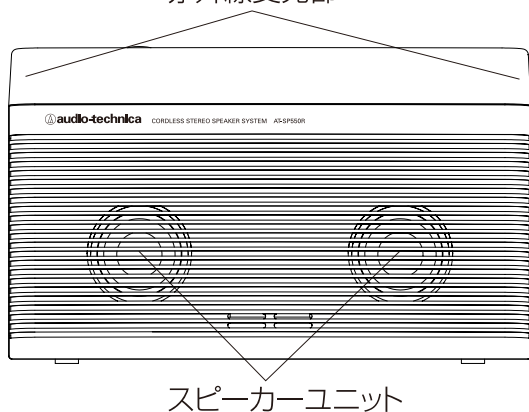
※ 赤外線受光範囲内であってもトランスミッターから離れるにしたがって雑音が増えますが、故障ではありません。できるだけ聞きやすい場所に設置してください。

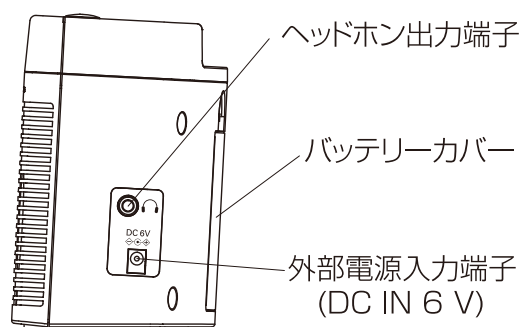
※ご使用になる環境によっては、リスニングエリアが狭くなる場合があります。

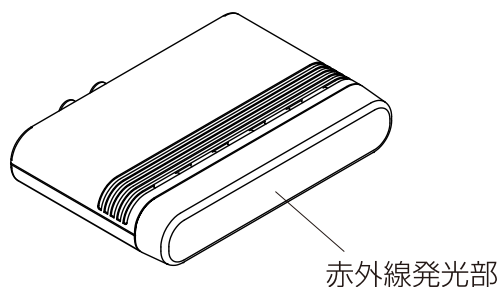
各部の名称

スピーカー　AT-SP550R

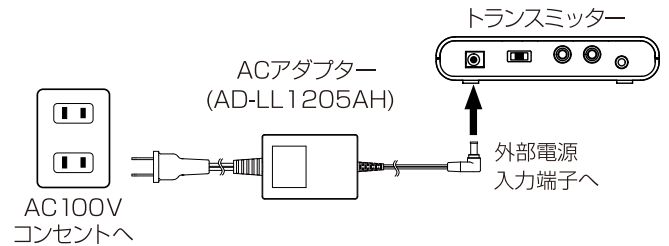
天 面

正 面

L 側　R 側

側 面

R 側

トランスミッター　AT760TX

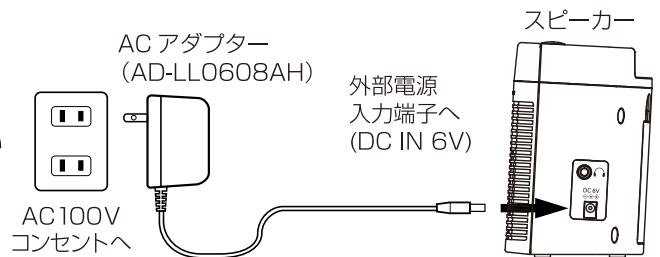
正面 / 上部

背面 / 上部

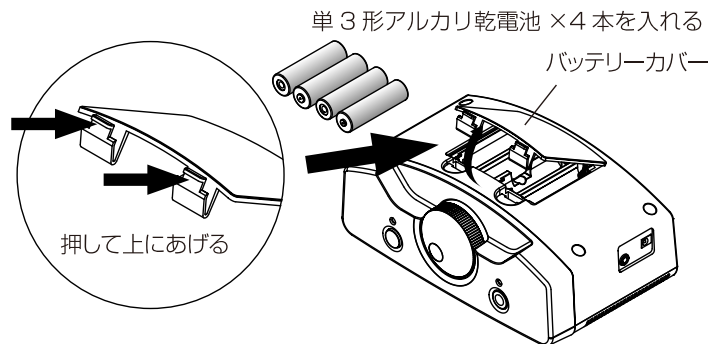
トランスミッターの接続のしかた

トランスミッターの電源が
「OFF」になっていることをご確認ください。
トランスミッターと付属のトランスミッター専用
AC アダプター(AD-LL1205AH)を接続します。
スピーカー専用 AC アダプター(AD-LL0608AH)
は接続しないでください。

スピーカーの電源準備をする

スピーカーは付属のACアダプター、または単３形アルカリ乾電池４本でご使用いただけます。

①付属のACアダプターを使用する場合

スピーカーと付属のスピーカー専用 AC アダプター (AD-LL0608AH)
を接続します。
トランスミッター専用 AC アダプター (AD-LL1205AH) は接続しない
でください。

②電池を使用する場合

1.図のようにバッテリーカバーを開けてください。
2.本体の極性表示に合わせて、単 3 形アルカリ乾電池 ×4 本を
入れてください。
3.バッテリーカバーを 閉めてください。

⚠注意

●電池が消耗してくると、スピーカーの音量を上げても音が大きくならず、音が歪みます。充電池をご使用になった場合、歪みだす時間が早くなります。

テレビや AV 機器との接続のしかた

テレビや AV 機器との接続には以下の 2 種類の接続方法があります。
※接続するテレビや AV 機器の取扱説明書もあわせてお読みください。

①本製品だけで音声を聞きたいとき（テレビから音声が出ません）

図 1 のように、付属のコードでテレビのヘッドホン端子と
トランスミッターの AUDIO IN B を接続してください。
テレビから音声が出なくなります。

※モノラルテレビに接続したときは、右側のスピーカーの音が出ません。
両方のスピーカーで音を出したいときは、別売のモノラルーステレオ
変換アダプターをお買い求めください。

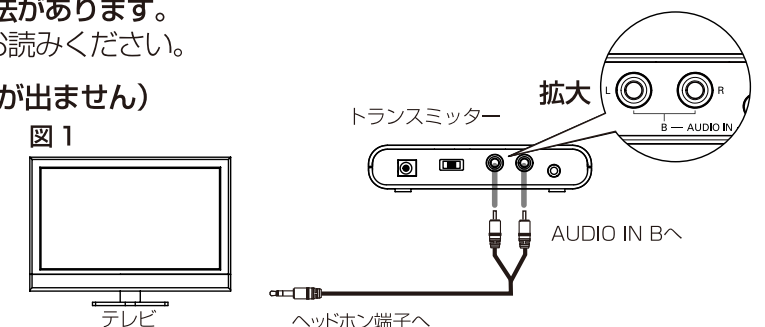
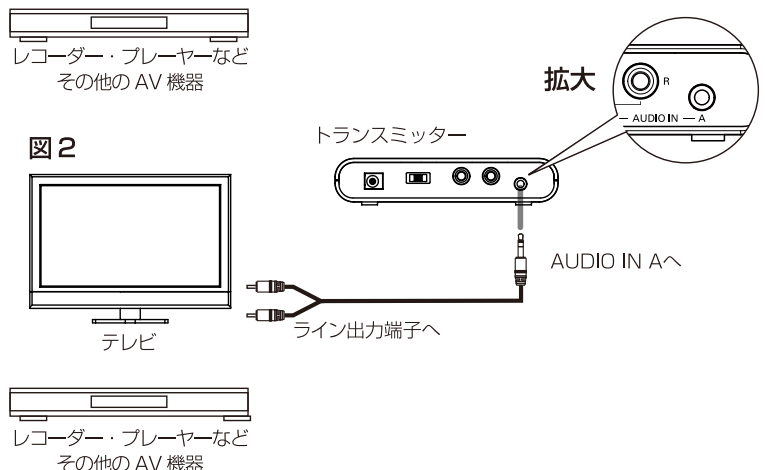
図 1

②テレビと本製品の両方から音声を聞きたいとき

図 2 のように付属のコードで接続機器のライン出力と
トランスミッターの AUDIO IN A を接続してください。
テレビの音声も同時に聞くことができます。

※AUDIO IN A と AUDIO IN B の両方を同時に接続しないでください。
※付属品以外のコードで接続する場合は、
テレビのヘッドホン端子とトランスミッターの AUDIO IN A、
およびライン出力端子と AUDIO IN B をそれぞれ接続しないでください。
※テレビにライン出力がない場合は②の接続方法はできません。

図 2

使いかた

●ご使用の前にスピーカーの電源 とトランスミッターの電源 、接続を確認してください。
●電源を「ON/OFF」する前に本製品および接続機器のボリュームを下げてください。
※接続する機器の取扱説明書あわせてお読みください。

1.トランスミッターの電源切り換えを設定する

電源切換スイッチは「ON」「AUTO」「OFF」の3段階の切り換えになっています。
出荷時の電源切換スイッチは「AUTO」の状態にセットされていますので、使用状況によって電源の切り換えを行なってください。

「ON」 …電源ONモード
トランスミッターの電源が入った状態です。

「AUTO」 …オートパワーON/OFFモード
接続機器の音声信号が入ると自動的にトランスミッターの電源が入る状態になります。
また、約10分間音声信号がないと自動的にトランスミッターの電源が切れます。
スピーカーの電源もその約2分後に自動的に切れます。
再び音声信号が入力されると、自動的に赤外線の送信が再開され、
通常の使用を行うことができます。

「OFF」 …電源OFFモード
トランスミッターの電源が切れた状態になります。

2. 接続機器の電源を入れる

接続しているテレビ や AV 機器などの電源を入れて機器のボリュームを調整してください。

⚠注意

● テレビ や AV機器のヘッドホン端子にトランスミッターを接続し、電源切換スイッチを「AUTO」の状態にしている場合は、AV機器の音量を歪まない範囲でできる限り大きくしておいてください。
接続機器の音量 が小さいとオートパワーOFF機能が働き自動的にトランスミッターの電源が切れてしまいます。

3.スピーカーの電源スイッチを押す

スピーカー の電源スイッチを押して 、電源を入れてください。電源インジケーターが赤色に点灯します。

スピーカー電源スイッチ

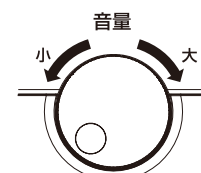
電源が入ると
赤く光ります

電源

4.ボリュームで音量を調整する

ボリュームを回して音量を調整してください。

⚠注意

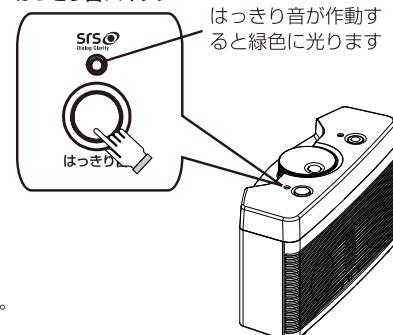
● 音が歪んだ 場合は、接続した機器のボリュームも下げてください。

5. 使い終えたら電源を切る

スピーカーの電源スイッチを押して、電源を切ってください。
※しばらくご使用にならない場合は、トランスミッターの電源を OFF にして AC アダプターをコンセントから抜いてください。

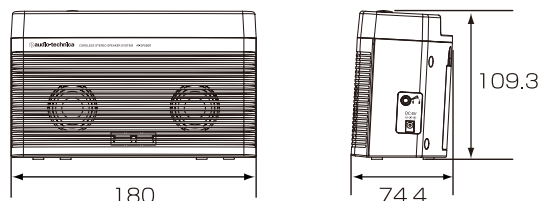
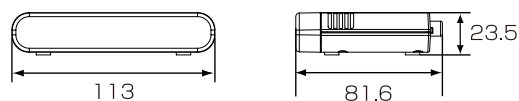
はっきり音機能

はっきり音スイッチを押すと、はっきり音インジケーターが緑色に点灯し、
台詞や音声を明瞭に聞くことができます。
*はっきり音の効果には個人差があります。
*はっきり音スイッチをもう一度押すと解除されます。

はっきり音は SRS Labs, Inc. が開発した SRS Dialog Clarity ™ 技術を採用しています。
この技術は、人の声の領域の周波数を強調することにより、オーディオやサラウンド再生音の中で台詞を明瞭に聞くことができます。

Dialog Clarity、SRS と ◉ 記号は、SRS Labs, Inc. の商標です。
Dialog Clarity 技術は SRS Labs,Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。

外形寸法図

単位 :mm

スピーカー　AT-SP550R

トランスミッター　AT760TX

テクニカルデータ

●送受信システム

送信方式	赤外光ＦＭ変調、ステレオ、2周波タイプ
搬送波周波数	左チャンネル : 2.3MHz 右チャンネル : 2.8MHz
赤外光波長	約850nm ～ 900nm
リスニングエリア	正面 : 約7m、左右45度 : 約2m

●トランスミッター

電源	DC12V(付属の AC アダプターを使用、日本国内専用)
信号入力	ライン入力 : AUDIO IN A (φ3.5ステレオミニジャック) HP入力　: AUDIO IN B (RCAステレオピンジャック)
外形寸法	H23.5 × W113 × D81.5mm
質量	約 70g

（改良などのため予告なく変更することがあります。）

●スピーカー

電源	DC6V(付属の AC アダプターを使用、日本国内専用) 単 3 形アルカリ乾電池 ×4 本 ※電池別売
電池持続時間	約10時間(単3形アルカリ乾電池 5mW+5mW 時)
スピーカー	φ40mm ×2
実用最大出力	1W+1W(ACアダプター) 0.75W+0.75W(単3形アルカリ乾電池)
出力端子	φ3.5 mm ステレオミニジャック
外形寸法	H109.5 × W180 × D74.5mm
質量	約 400 g (電池除く)

●付属品

接続コード	φ3.5 mmステレオミニプラグ ⇔ RCAピンプラグ×2（1m）
トランスミッター専用 AC アダプター	AD-LL1205AH
スピーカー専用 AC アダプター	AD-LL0608AH

故障かな？と思ったら

Q. 音が出ない		
	A1.　トランスミッターと接続機器が正しく接続されていますか？ →トランスミッターと接続機器の接続を確認してください。	5 ページ「トランスミッターの接続のしかた」を参照ください。
	A2.　接続した機器の電源が入っていますか？ →電源を入れてください。	6 ページ「使いかた」を参照ください。
	A3.　スピーカー、トランスミッターの電源が入っていますか？ →電源を入れてください。	6 ページ「使いかた」を参照ください。
	A4.　接続した機器を再生していますか？ →再生してください。	6 ページ「使いかた」を参照ください。
	A5.　接続した機器のボリュームが下がったままではありませんか？ →ボリュームを調整してください。	6 ページ「使いかた」を参照ください。
	A6.　スピーカーに電池を極性通りに入れましたか？ →極性を確認してください。	5 ページ「スピーカーの電源準備をする」を参照ください。
	A7.　スピーカーの電池が消耗していませんか？ →新品の電池に入れ換えてください。または、付属のADアダプター (AD-LL0608AH) をご使用ください。	5 ページ「スピーカーの電源準備をする」を参照ください。
	A8.　モノラルの機器に接続していませんか？ →トランスミッターをモノラル機器に接続する場合、右スピーカーの音が出ませんので、その場合は市販の変換プラグアダプター（φ3.5mm ステレオミニジャック⇔φ3.5mm モノラルミニプラグ）をお買い求めください。	5 ページ「テレビや AV 機器との接続のしかた」を参照ください。
	A9.　接続機器の入力音声の音源が小さくありませんか？ →接続機器の入力音声を大きくしてください。	6 ページ「使いかた」を参照ください。

Q. 音が歪む		
	A1.　白熱灯や蛍光灯、コードレスマウス、ＩＨ調理器などがスピーカーのすぐ近くにありませんか？ →雑音がなくなる位置まで離れてお聞きください。	3 ページ「使用上の注意」を参照ください。
	A2.　スピーカーの電池が消耗していませんか？ →新品の電池に入れ換えてください。または、付属のAC アダプター (AD-LL0608AH)をご使用ください。	5 ページ「スピーカーの電源準備をする」を参照ください。
	A3.　スピーカーのボリュームを上げすぎていませんか？ →接続機器のボリュームを上げ、スピーカーの音量を下げてご使用ください。接続機器を調整して歪まないところでご使用ください。	6 ページ「使いかた」を参照ください。
	A4.　接続した機器のボリュームを上げすぎていませんか？ →接続機器のボリュームを下げてください。	6 ページ「使いかた」を参照ください。
	A5.　トランスミッターを複数使用していませんか？ →トランスミッターは同時に 2 台以上使用しないでください。	3 ページ「使用上の注意」を参照ください。
	A6.　直射日光の当たる場所で使用していませんか？ →カーテンなどを閉めて直射日光が当たらないようにするか、直射日光の当たらない場所で使用してください。	3 ページ「使用上の注意」を参照ください。

Q. 音が途切れる		
	A1.　接続した機器のボリュームを下げすぎていませんか？ →接続した機器の出力ボリュームが小さいためにオートパワー OFF が働いています。接続機器のボリュームを上げてください。または、トランスミッターの電源切換スイッチを「ON」にしてください。	6 ページ「使いかた」を参照ください。
	A2.　白熱灯や蛍光灯、コードレスマウス、ＩＨ調理器などがスピーカーのすぐ近くにありませんか？ →雑音がなくなる位置まで離れてお聞きください。	3 ページ「使用上の注意」を参照ください。
	A3.　スピーカーの電池が消耗していませんか？ →新品の電池に入れ換えてください。または、付属のAC アダプター (AD-LL0608AH)をご使用ください。	5 ページ「スピーカーの電源準備をする」を参照ください。
	A4.　接続した機器のボリュームを上げすぎていませんか？ →接続機器のボリュームを下げてください。	6 ページ「使いかた」を参照ください。
	A5.　プラグが接続した端子から外れていませんか？ →確実に接続してください。	5 ページ「テレビや AV 機器との接続のしかた」を参照ください。
	A6.　正しく設置されていますか？ →トランスミッターとスピーカーの間に障害物がある場合は障害物を取り除いてください。 →トランスミッターとスピーカーの間は 7m以内で使用してください。 →トランスミッターとスピーカーの位置や角度を調整しなおしてください。 →トランスミッター赤外線発光部とスピーカーの赤外線受光部を覆わないように使用してください。	3 ページ「使用上の注意」を参照ください。
	A7.　トランスミッターを複数使用していませんか？ →トランスミッターは同時に 2 台以上使用しないでください。	3 ページ「使用上の注意」を参照ください。
	A8.　直射日光の当たる場所で使用していませんか？ →カーテンなどを閉めて直射日光が当たらないようにするか、直射日光の当たらない場所で使用してください。	3 ページ「使用上の注意」を参照ください。

アフターサービスについて

本製品をご家庭用として、取扱説明や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間･規定により無料修理をさせていただきます。修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。
お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

お問い合わせ先（電話受付 / 平日9：00～17：30）
製品の仕様･使いかたや修理･部品のご相談は、販売店または当社相談窓口およびホームページのサポートまでお願いします。

●相談窓口（製品の仕様･使いかた） 0120-773-417（携帯電話･PHSなどのご利用は 03-6746-0211）
FAX：042-739-9120　Eメール：support@audio-technica.co.jp
●サービスセンター（修理･部品） 0120-887-416（携帯電話･PHSなどのご利用は 03-6746-0212）
FAX：042-739-9120　Eメール：servicecenter@audio-technica.co.jp
●ホームページ　（サポート）　www.audio-technica.co.jp/atj/support/

株式会社オーディオテクニカ
〒194-8666　東京都町田市成瀬2206　http://www.audio-technica.co.jp

192301070e